

## 2. 「遺伝子の本体」の研究の歴史

### ① タンパク質かDNAか

19世紀. オーストリアの(メンデル)は. エンドウの種子の形や子葉の色などの形質に注目した実験を行い. 遺伝の規則性を発見した。



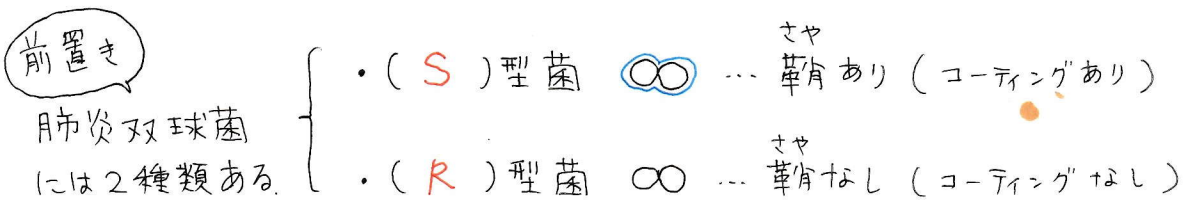
20世紀になると. アメリカのサットンによって. 染色体に遺伝子があるという説が提唱された。





染色体はDNAとタンパク質から構成されているため. そのどちらが遺伝子の本体なのか議論されました。

### ② (グリフィス)の実験 ... 肺炎双球菌を使う

感染したら肺炎になってしまう菌



• (S)型菌 ...  鞘があって つるつるコーティングされているので. 体内の免疫細胞も菌がたたく食って殺すことができないので. 生き残ることができる菌. 強い菌 ⇒ 病原性がある.

• (R)型菌 ...  鞘がなく サラサラゴリゴリしているので. 体内の免疫細胞に食べられてしまい除去される菌. 生き残ることができない.

弱い菌 ⇒ 病原性がない.